

平成20年度 屋内プールの水質実態調査

横浜市18区内の屋内プールにおける衛生管理状況の把握を目的として、屋内プールの水質実態調査を行いました。

1 対象施設及び試料

(1)対象施設:屋内プール87施設

(2)採水日:平成20年6月17日から10月29日

(3)試料:大プール101面*¹、中プール1面*²、小プール39面*³、
その他のプール(ダイビング2面、スライダー1面、流水1面)4面*⁴、
ジャグジー51面の計196面

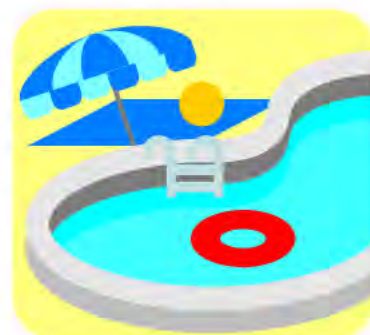
*1 理化学検査は1面1試料、細菌検査は1面の中央及び

対角線両端の3試料を(一部中央のみ)採水

*2 理化学検査は1面1試料、細菌検査は1面2試料を採水

*3 理化学検査は1面1試料、細菌検査は1面1試料を採水

*4 規模に応じて採水



2 検査項目

(1)福祉保健センター現場検査項目:遊離残留塩素濃度(以下残留塩素)、pH、水温*⁵

(2)衛生研究所検査項目:過マンガン酸カリウム消費量、濁度、一般細菌、大腸菌群

*5 水質基準に該当しない参考項目

3 検査方法

厚生労働省通知「遊泳用プールの衛生基準について」に定める方法に準じました。

4 検査結果

検査結果を表に示しました。水質基準に適合しない試料は計77面(大プール34面、中プール1面、小プール11面、その他のプール1面、ジャグジー30面)でした。基準不適合項目と延べ面数は、残留塩素が71面、一般細菌が9面、大腸菌群が4面、過マンガン酸カリウム消費量が7面でした。pH、濁度については基準に適合していました。遊離残留塩素濃度は0.4mg/L未満が計24面(大プール15面、中プール1面、小プール3面、ジャグジー5面)の12.2%で、1.0mg/L超が計47面(大プール18面、小プール8面、その他のプール1面、ジャグジー20面)の23.9%で、望ましい範囲(0.4mg/L以上1.0mg/L以下)にあったのは計125面の63.8%でした。約36%のプールは残留塩素濃度の調節が適当ではないことが分かりました。一般細菌が200cfu/mL超を示した9面のうち、6面は残留塩素濃度が0.4mg/L未満で基準に達していませんでした。残る3面は基準に達しており、残留塩素濃度は0.7、1.0、1.5mg/Lでした。しかし、一般細菌についてはそれぞれ540、210、390cfu/mL検出されています。この3面で検出された残留塩素については、遊離残留塩素か結合塩素かの精査が引き続き必要と考えられました。

表 屋内プール水質検査結果

屋内プール	大	中	小* ⁶	その他	ジャグジー* ⁶	水質基準
試料数	101	1	39	4	51	
水質基準不適合試料数	34	1	11	1	30	
検査項目	基準不適合面数					
遊離残留塩素	33	1	11	1	25	0.4mg/L以上(1.0mg/L以下が望ましい)
一般細菌	4	0	1	0	4	200cfu/mL以下であること
大腸菌群	3	0	1	0	0	検出されないこと
pH	0	0	0	0	0	5.8以上8.6以下であること
過マンガン酸カリウム消費量	1	0	0	0	6	12mg/L以下であること
濁度	0	0	0	0	0	2度以下であること

*6 神奈川県条例に基づき、規模の小さい(小およびジャグジー等)プールは水質基準を適応しない場合があります。

【 水質担当 】